

1年■組 学級活動学習指導案

授業者：●●●●

1 取り上げる人権課題「子ども」

2 取り上げた人権課題の背景と現状

子どもの人権や自由を尊重し、子どもに対する保護と援助を目的とした「児童の権利に関する条約」が、平成元年の国連総会で採択され、日本は平成6年に批准した。しかし、「いじめ」「児童ポルノ」「児童虐待」の問題など、今も子どもを取り巻く人権は脅かされている。

中でも「いじめ」については、子どもの社会でも起きる深刻かつ重大な社会問題になっている。子どもたちは、「いじめはいけないことだ」と思っているが、「いじめ」に起因する自殺事件が後を絶たず、その内容も陰湿・執拗であることが指摘されている。これらは、自己中心性や優越感、偏見などに起因するところがあり、それらを克服するためには、子どもたちも人権意識が向上できるようにしていくことが必要不可欠である。

3 児童の実態

【アンケート調査等からみた本学級の実態】

1年1部の児童は明るく元気で、覚えた決まりや約束を守りながら、仲間と共に楽しく生活を送っている。また、学級の仕事や集会の仕事などにも積極的に仲間と助け合いながら、興味をもって活動できる。しかし一方で、「いじめ

| 〈分析の観点〉 | 概ね思う |
|--------------------------|------|
| 友達に会うのは楽しい | 100% |
| 友達との約束を守っている | 100% |
| 人が困ったときは進んで助けている | 100% |
| いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う | 100% |
| いやなことをされたことがある | 約70% |

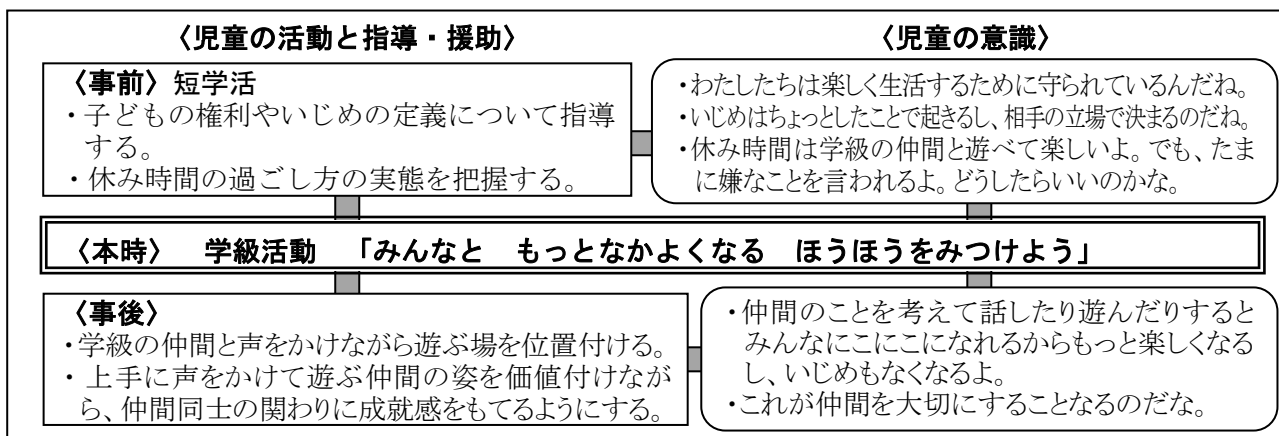
はどんな理由があってもいけないことだと思う」と誰もが思っているものの、「いやなことをされたことがある」と答えた児童が約70%いることが分かった。これは、仲間同士過ごすことが増えてきた子どもたちであるが、まだ自己中心性が残っているため、自分では仲間となかよくしていると思っても知らないうちに仲間を傷つけていることに要因があると捉えた。

そこで、本題材を通して児童が「なかよくしているつもりでも、自分の楽しい気持ちだけで行動すると仲間を傷つけていたことに気付いたよ。だから、仲間のことを考えて遊んだり、お話ししたりするよ。」と相手を大切にできる活動方法を知って実践し、仲間がいじめに遭うなど、自分や仲間の人権が脅かされる場面に出会った時に、正しい判断で行動ができるようにしていきたい。

4 指導改善の手立て

- いじめによって傷ついた子の気持ちを考える中で、「自分にもあることかもしれない」という話をする場を作り、学習活動3でつくった考えの違いを問いかけることによって、知らないうちに仲間を傷つけていることに気付くことができるようにする。
- 実践策をもつ場において、相手の立場を考えながら「○○しよう。」などと吹き出しに言葉を入れる活動を位置付けることで、相手を大切にしたい上での行動力を育てることができるようにする。

5 事前・本時・事後の指導構想



6 本時の目標

身近な事例を基に自分たちの生活を振り返る活動を通して、自己中心的な気持ちが仲間を傷つけてしまうことや、それがいじめにつながることに気付き、自分勝手なことをせずに、みんなと楽しく過ごすための実践策をもつことができる。
(思考・判断・実践)

7 本時の展開

| 過程 | 主な学習活動 | 見届ける視点(◇)と指導・援助 |
|----------|--|---|
| つかむ5分 | <p>1 第1資料(昼休みの出来事)から、事実の内容を把握する。</p> <p>【場面の概要】 昼休みにドッジボールをしていました。Tさんは当たったので外野に行きました。Tさんは当てる自信があったので、外野にいたSさんに「1回で当てるから、投げていい?」と聞きました。Sさんは「うん。いいよ。」と言いました。しかし当たりません。「次は当てるから。」と言うのでSさんはボールを渡しました。でも当たりません。…気が付いたらSさんはいなくなっていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tさんは1回言って言っていたのに、何回も投げているね。 ・ Sさんは投げられずにかわいそうだよ。 ・ みんなと楽しく遊べたらいいのね。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みんなと たのしくすごす ひみつをかんがえよう</p> | <p>◇資料から内容をつかみ、問題点を見付けているか。 (発言内容・挙手や反応の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sさんの気持ちに共感している児童、みんなと楽しく遊びたいと思っている児童を意図的指名する。 <p>◇自己中心的な言葉がけや行動が相手に嫌な思いさせることに気付くことができたか。 (発言内容・反応の様子・表情)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「どうしていけないと思うの。」と問い返すことで、Tさんの自己中心的な行動に気付くことができるようにする。 |
| 見いだす10分 | <p>2 第1資料の問題点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TさんがSさんのボールをとったからだめだった。 ・ Sさんはさみしかったと思うよ。いやだったと思う。 ・ Tさんは自分ばかり投げているから、自分勝手だ。 <p>3 Tさんの立場から、Tさんの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tさんはドッジが強いし、当てられると思っていた。たまたま当たらなかっただけだよ。 ・ Sさんも「うん。いいよ。」って言っているし、Tさんが夢中になる気持ちも分かるなあ。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・ 自分勝手に相手を嫌な思いにしたのはよくないけど、自分は楽しいからやってしまう気持ちは分かる。</p> <p style="text-align: center;">【確かにする場】</p> | <p>◇自己中心的な見方や考え方が自分にもあることに気付くことができたか。(発言内容・反応の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tさんの話を資料として提示した上で、「Tさんの行動で、自分も分かることはないかな。」と問いかけ、Tさんの行動を理解できるようにする。 |
| 確かにする15分 | <p>4 第2資料(ランドセルを持たされて帰っているAさんの話)から、いじめられているAさんの思いを考える。</p> <p>【お話の概要】 一緒に帰るBさんとCさんから「ランドセル持って。」と言われました。嫌だと断っても、「今度持ってあげるから!」「疲れたから。」「もう無理だから。」と言うので、「今日だけね。」と言いました。でも、それだけでなく、傘や図書袋も持たされました。するとBさんとCさんが、「軽くなったね。走って帰ろうよ。」と言いました。・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BさんとCさんは自分勝手だ。Aさんつらそうだ。 ・ Aさんは、いじめられている。これはだめだと思う。 <p>○でも、「Aさんは今日だけね。」って言っているよ。それに、さっきみんなは「Tさんの気持ちは分かる」って言っていたよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分勝手な気持ちが相手をすごく傷つけてしまうんだ。 ・ 自分勝手に、こんなことやってはいけない。 ・ これからは、相手の気持ちを考えて行動するよ。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ 楽しいからという気持ちだけで行動すると、いじめになる。相手の気持ちを考えて行動することが大切だ。</p> <p style="text-align: center;">【学習成立を見届ける場】</p> | <p>◇自分勝手な言葉がけや行動が相手に傷つけるだけでなく、いじめになることに気付くことができたか。(発言内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問い返し後、既習内容や自分の生活のつながりに気付いて発言できる児童を価値付けることで、自分事として捉えることができるようにする。 <p style="text-align: center;">【人権教育の観点】</p> <p>自分勝手な行動が仲間に疎外感を与えていたことを分かっていたなかった自分の弱さに気付き、行動を直そうとする態度を育む。(行動力)</p> <p><そのための手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5において、気持ちと行動をつなぐために、吹き出しを書いている児童に「どうして○○と言うの。」と相手の気持ちについて問いかける。 |
| できる15分 | <p>5 実際の生活の中にある場面絵の吹き出しを書くことで、今後の実践策をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは、みんなとなかよく遊びたいから、仲間の気持ちになって「一緒にやろう」と声をかけます。 <p style="text-align: center;">これからは仲間の思いになるよ!!</p> | <p style="text-align: center;">【評価規準】</p> <p>◇自分勝手なことをせずにみんなが楽しく過ごすための実践策をもっている。 (発言内容・記述内容)</p> |

解 説

1. 人権課題「子どもの人権」を取り上げるにあたって

子どもにも人権（生きる権利，育つ権利，守られる権利，参加する権利）があり，これらは守られるべきものです。しかし，子どもを取り巻く環境は，貧困，いじめ，体罰，虐待などますます深刻な状況にあります。その原因や背景として，他人に対する思いやりや，いたわりの欠如があると考えられています。この問題を解決し，一人一人の意識を向上させていくことが必要不可欠です。

中でも「いじめ」は，子どもたちの社会でも起きる重大な社会問題となっています。ゆえに，学校では「いじめ問題」について考える機会を設定し，仲間のことを考えて行動することの大切さを理解させていくことが必要です。

2. 本実践の指導上のポイント

まず，自己中心的な言葉や行動が，相手を嫌な思いにさせるということに気付かなければなりません。本実践では，前半でこのことに気付くための指導がなされています。昼休みの出来事という第1資料から問題点を考えたり，Tさんの気持ちを考えたりすることで，Tさんは自己中心的な行動をしておりSさんの思いを考えていなかったことや，Tさんのような自己中心的な見方や考え方が自分にもあることに気付くようにしています。

【確かにする場】において第2資料を用い，「楽しいから」などと自己中心的な考えだけで行動すると，いじめにつながるから，相手の気持ちを考えて行動することが大切と捉える自己啓発力を育てようとしています。

そして，最後の【学習成立を見届ける場】において，実際の生活の中にある場面絵の吹き出しを考える活動をすることで，自己啓発力をより確かなものにするようにしています。